

第 1 回 香取地区地域協議会 次第

日 時 令和 6 年 1 月 1 1 日 (木) 午後 2 時から
場 所 北総教育事務所香取分室 大会議室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 教育委員会挨拶
- 4 座長選出
- 5 議 事
 - (1) 地域協議会設置の趣旨
 - (2) 「県立高校改革推進プラン」及び「第 1 次実施プログラム」について
 - (3) 香取地区の県立高校の現状と課題
 - (4) 質疑
 - (5) その他
- 6 報告・連絡
- 7 閉 会

【資料】

- 資料 1 香取地区地域協議会 委員名簿
- 資料 2 香取地区地域協議会 設置要綱
- 資料 3 「県立高校改革推進プラン」及び「第 1 次実施プログラム」について
- 資料 4 香取地区地域協議会 基礎資料

第 1 回出席者名簿
第 1 回座席表

【参考】

- 1 第 3 期千葉県教育振興基本計画
次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン（概要版）
- 2 県立高校改革推進プラン（本冊子及び要約版）
- 3 県立高校改革推進プラン・第 1 次実施プログラム（本冊子及び要約版）
- 4 県立学校改革推進プラン・第 1 次～第 4 次実施プログラム（要約版）
- 5 公立高等学校所在図（令和 4 年 4 月）
- 6 千葉県高等学校所在図（令和 4 年 4 月）
- 7 地区内の県立高校の学校案内

香取地区地域協議会 委員名簿

50音順、敬称略

氏 名	所 属
石 毛 敏	香取市役所 総合政策部企画政策課 課長
井 上 圀 彦	学校法人井上学園 千葉萌陽高等学校 校長
宇 ノ 澤 修	東庄町教育委員会 教育課 課長
大 野 和 義	神崎町教育委員会 課長補佐
小 沼 利 之	香取市教育委員会 教育総務課 課長
栗 芝 博	香取市立小見川中学校 校長
佐 藤 裕 輝	多古町教育委員会 学校教育課 課長
高 橋 正	多古町役場 総務課 課長
筑 紫 格	千葉工業大学 工学部 教授
津 島 寿 一	香取郡市PTA連絡協議会 会長
鵜 崎 良 雄	佐原商工会議所 専務理事
成 川 賢 一	千葉県立多古高等学校 校長
宮 崎 晶 子	北総教育事務所 所長
行 橋 健 一	かとり農業協同組合 多古支店 支店長

香取地区地域協議会設置要綱

（目 的）

第1条 県立高校改革推進プランを踏まえ、地域における今後の学校の在り方などについて意見を聴くため、地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

なお、協議会は、香取地区（香取市、神崎町、東庄町、多古町）における今後の学校の在り方などについての意見聴取を目的とするものであることから、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではない。

（構 成）

第2条 協議会は、委員15名程度で組織する。

2 委員は、原則として以下に掲げる者とする。

（1）学識経験者

（2）地域関係者

（3）私学関係者

（4）教育関係者

（5）その他千葉県教育委員会教育長（以下、「教育長」という。）が必要と認めた者

3 委員の任期は、令和6年3月31日までとする。

（運 営）

第3条 協議会に座長を置く。

2 座長は、委員の互選により定める。

3 座長は、協議会の進行を行う。

4 座長に事故あるとき、又は欠けたときは、座長が指名した者が、その職務を代理する。

5 協議会は、必要に応じて教育長が招集する。

（庶 務）

第4条 協議会に係る庶務は、千葉県教育庁企画管理部教育政策課（以下、「教育政策課」という。）が行う。

（その他）

第5条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育政策課が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年11月14日から施行する。

第1回 香取地区 地域協議会

「県立高校改革推進プラン」及び 「第1次実施プログラム」について

令和6年1月11日(木) 14:00～
北総教育事務所香取分室 大会議室



みんなで取り組む
千葉の教育

千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

1

I これまでの高校再編について

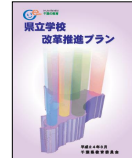
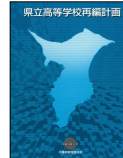
1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」
(平成14年11月策定)

「県立学校改革推進プラン」
(平成24年3月策定)

目標年次 平成14年度～23年度

目標年次 平成24年度～令和3年度



学科設置や統合等の再編中心 コースなどの魅力づくりが中心

2

2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」

「県立学校改革推進プラン」



第1期実施プログラム：H14.11策定
第2期実施プログラム：H16. 5策定
第3期実施プログラム：H18.12策定

第1次実施プログラム：H24.3策定
第2次実施プログラム：H26.3策定
第3次実施プログラム：H28.3策定
第4次実施プログラム：H30.3策定

一部改訂
H30.3策定

3

3 「県立学校改革推進プラン」

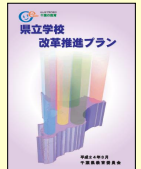
実施プログラムの主な内容

○魅力ある高等学校づくり

- ・ 社会のニーズに対応したコースの設置
教員基礎コース(4校) **保育基礎コース**(2校)
医療・福祉系コース(8校) **工業系コース**(2校) 等
- ・ **理数科**の設置(2校)
- ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
- ・ **総合学科**の設置(全日2校、定時1校)
- ・ **中高一貫教育校**の設置(1校)
- ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4校)

○適正規模・適正配置

- ・ **全日制3組統合**(125校→121校)
- ・ **三部制定時制高校**の設置(1校)



4

II 「県立高校改革推進プラン」について



令和3年6月～令和4年1月
次期プラン策定懇談会開催
令和3年9月～10月
地域協議会を5か所で開催
令和3年12月～1月
パブリックコメント実施

令和4年3月
県立高校改革推進プラン策定

今後10年間の県立高校改革に関する
基本的な考え方を示す

5

1 県立高等学校の現状と課題

(1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

(2) キャリア教育・職業教育の充実

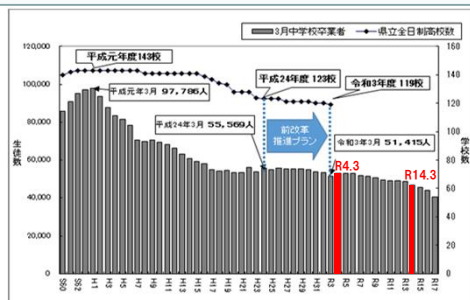
- 高校卒業後の進路内訳
 - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
 - ・ 就職…約 **17%** (およそ5,500人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等で
さらなる担い手の育成が必要**



6

(3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校数の推移》

7

2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
・**スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
・**高校が小・中学校のキャリア教育を支援**
→ 職業系専門学科への理解を深める
・**時代や社会が求める人材**の育成
- (3) 学校間連携
・学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
・**小・中学校等との連携**を視野に展開

8

3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

9

4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進
※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育**の充実
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

10

4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進
※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
・育成をめざす資質・能力に関する方針
・教育課程に関する方針
・入学者の受入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働し**、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮し**、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

11

5 魅力ある県立高校づくりの推進

【キャリア教育の推進】

- **求められる人材の育成に向けたコース**の拡充・設置
→ 医師・教員・保育士・介護従事者等
- **理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び
→ **農業経営者の育成**など
- **工業系コンソーシアム**の活性化
- **起業家精神を有する人材**の育成
- **福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの
ポイント

12

【総合学科】

- 新たに5校程度に設置
 - ・ **STEAM教育**※の導入
 - ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
 - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

【社会のニーズに対応した教育】

- **単位制高校**※を3校程度拡充
 - ・ 進学指導重点校などに**大規模な単位制高校**の設置
 - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校
- **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充
 - ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランのポイント

13

6 県立高校の適正規模・適正配置

都市部 (第1学区～第3学区)

郡部 (第4学区～第9学区)

14

○適正規模

都市部：1学年あたり **6～8** 学級

郡部：1学年あたり **4～8** 学級

○適正配置

今後10年で中学校卒業生数が**約6,200人**減少
→ 活力ある教育活動の維持のため **10組程度の統合**を予定

都市部：**多様な学び**への変換
新たなタイプの学校への再編

郡部：**学校・地域の状況等に配慮**して検討

プランのポイント

15

【パブリックコメントの主な意見】

一定程度の規模は**不可欠**である

郡部については、**地域との十分な話し合い**が必要
過疎地域の特例について検討してほしい

16

Ⅲ 『第1次実施プログラム』について

令和4年10月
第1次実施プログラムを策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目**について**18校が対象**
- ・ **今後の統合の考え方**を示す

17

第1次実施プログラム

1 既存のコース等の設置拡充概要

(1) 教員基礎コース	国府台・成東・大多喜
(2) 保育基礎コース	鎌ヶ谷西・土気
(3) 医療系コース	小見川
(4) グローバルスクール	松戸国際
(5) 福祉コース	船橋豊富
(6) 総合学科	匝瑳
(7) 地域連携アクティブスクール	行徳・市原
(8) 通信制協力校	銚子商業

18

第1次実施プログラム概要 **2 新たな学びの導入**

(1) **農業経営者育成に関するコース**
茂原樟陽

(2) **起業家育成に関するコース**
千葉商業

(3) **観光に関するコース**
一宮商業

(4) **先進ITコース**
袖ヶ浦

19

第1次実施プログラム概要 **3 連携の推進**

(1) **理数教育拠点校** 船橋

20

第1次実施プログラム概要 **3 連携の推進**

(2) **福祉系コンソーシアム設置** 松戸向陽

21

第1次実施プログラム概要 **4 適正規模・適正配置**

今後の**統合の基本的な考え方**

【都市部】

- **適正規模未満**の学校
- **将来適正規模の維持が困難**となることが見込まれる学校
- **同じタイプの学校が近接**

↓

適正配置を考慮しながら規模を最適化
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

22

第1次実施プログラム概要 **4 適正規模・適正配置**

【郡 部】

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

地域連携協働校を指定

- 学校運営協議会制度（**コミュニティ・スクール**）を導入
- 必要に応じて**近隣の高校を協力校に指定**することも検討
- … ICTを活用した授業、学校行事や部活動の合同実施

地域連携協働校に指定された高校も含め、
生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討

23

IV 今後の予定

- **再編対象校**
 - ・各校において**校内準備組織を設置**
→プログラム実現に向けた準備を開始
 - ・県民への周知、PR
- **全県立高校**
 - ・プラン及びスクール・ポリシーに基づき
魅力ある県立高校づくりを推進
- **適正規模・適正配置について**
 - ・**県内各地域で地域協議会を順次設置**
→地域における県立高校の在り方について意見聴取

↓

「第2次実施プログラム」以降の検討

24

香取地区地域協議会

【基礎資料】

1 香取地区の県立高校4校の現状	2
(1) 地区における学校所在地	2
(2) 県立高校4校について	3
ア 概要	3
イ 概要(定時制)	5
ウ 沿革	6
エ 募集学級数の推移	8
(3) 入試の状況	9
(4) 進路の状況 (令和4年3月卒業生徒)	9
2 香取地区の現状と今後の見通し	10
(1) 地区の中学校卒業生の進路状況等	10
ア 地区の公立中学校卒業生数と、第5学区の県立高校全日制への進学者数の推移	10
イ 自治体別 公立中学校卒業生の進路先	11
①香取市	11
②神崎町	11
③東庄町	12
④多古町	12
⑤地区全体	13
ウ 生徒の流出入状況 (令和4年3月 国公立中学校卒業生)	14
(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し	15

【参考】各校の概要・沿革の掲載ページ

校名	概要	沿革
佐原【全日制】	3	6
佐原白楊	3	6
小見川	4	7
多古	4	7
佐原【定時制】	5	6

※掲載しているデータは、特別な記載がない限り令和5年度のデータである。

また、確定値ではない場合がある。

1 香取地区の県立高校4校の現状

(1) 地区における学校所在地

●県立高校	佐原 佐原白楊 小見川 多古
▲私立高校	千葉萌陽 わせがく(通信制)



(2) 県立高校4校について

ア 概要

学校名	佐原		佐原白楊	
所在地	香取市佐原イ 2685		香取市佐原イ 861	
交通手段	JR 成田線佐原駅 徒歩 20 分		JR 成田線佐原駅 徒歩 7 分	
設置年度	明治 33 年		明治 43 年	
学年別 学科・学級数	普通 6 理数 1		普通 5	
全校生徒数	823	(470 . 353)	547	(213 . 334)
1 学年 (男. 女)	276	(166 . 110)	200	(68 . 132)
2 学年 (男. 女)	275	(164 . 111)	184	(84 . 100)
3 学年 (男. 女)	272	(140 . 132)	163	(61 . 102)
居住市町村別 生徒数 (割合)	香取市	272 (33.0%)	香取市	227 (41.5%)
	茨城県	208 (25.3%)	成田市	174 (31.8%)
	成田市	175 (21.3%)	茨城県	80 (14.6%)
上位 5 自治体 及び隣接県	東庄町	37 (4.5%)	神崎町	18 (3.3%)
	銚子市	33 (4.0%)	東庄町	15 (2.7%)
第 5 学区 生徒数 (割合)	390 (47.4%)		275 (50.3%)	
地区内 生徒数 (割合)	351 (42.6%)		267 (48.8%)	
部活動・部員数及び 加入率(R4)	運動部 423	文化部 328 加入率 91.3%	運動部 181	文化部 199 加入率 69.3%
進路状況 (R4.3)	大学進学	238 (86.2%)	127	(65.8%)
	(うち 4 年大)	237 (85.9%)	115	(59.6%)
	専修学校	8 (2.9%)	43	(22.3%)
	職業能力校	1 (0.4%)	1	(0.5%)
	就職	5 (1.8%)	17	(8.8%)
	その他	24 (8.7%)	5	(2.6%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名	教頭 1 名	校長 1 名	教頭 1 名
	教諭等 51 名	養護教諭 1 名	教諭等 42 名	養護教諭 1 名
	実習助手 3 名	事務職員 4 名	実習助手 1 名	事務職員 4 名
			技能員等 1 名	
	合計 61 名		合計 51 名	
校地面積	敷地全体	50,497	敷地全体	42,962
	保有建物	17,206	保有建物	14,928
	保有運動場	33,291	保有運動場	28,034
	実習地他	0	実習地他	0
	借用地	0	借用地	0
再編歴			H15-単位制導入・共学化	

学校名	小見川	多古
所在地	香取市小見川 4735-1	多古町多古 3236
交通手段	JR 成田線小見川駅 徒歩 25 分	JR 総武本線八日市場駅 バス 30 分徒歩 5 分
設置年度	大正 12 年	明治 40 年
学年別 学科・学級数	普通 4	普通 2 園芸 1
全校生徒数	415 (201 . 214)	232 (161 . 71)
1 学年 (男.女)	133 (67 . 66)	61 (43 . 18)
2 学年 (男.女)	142 (67 . 75)	80 (60 . 20)
3 学年 (男.女)	140 (67 . 73)	91 (58 . 33)
居住市町村別 生徒数 (割合)	香取市 345 (83.1%) 東庄町 36 (8.7%) 銚子市 13 (3.1%) 茨城県 8 (1.9%) 旭市 6 (1.4%)	多古町 82 (35.3%) 成田市 53 (22.8%) 香取市 41 (17.7%) 匝瑳市 16 (6.9%) 横芝光町 10 (4.3%)
上位 5 自治体 及び隣接県		
第 5 学区 生徒数 (割合)	404 (97.3%)	143 (61.6%)
地区内 生徒数 (割合)	385 (92.8%)	124 (53.4%)
部活動・部員数及び 加入率(R4)	運動部 155 文化部 181 加入率 81.0%	運動部 126 文化部 50 加入率 75.9%
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大)	27 (17.3%)
		21 (13.5%)
	専修学校	76 (48.7%)
	職業能力校	1 (0.6%)
	就職	44 (28.2%)
	その他	8 (5.1%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 30 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名 技能員等 1 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 29 名 養護教諭 1 名 実習助手 7 名 事務職員 3 名
	合計 38 名	合計 42 名
校地面積	敷地全体 79,981 保有建物 27,482 保有運動場 47,520 実習地他 4,979 借用地 0	敷地全体 132,518 保有建物 50,997 保有運動場 34,205 実習地他 47,316 借用地 0
再編歴	H27-普通科に福祉コース設置 R6-普通科に医療コース設置	H24-コミュニティ・スクール導入 H30-農業学科再構成

イ 概要(定時制)

学校名	佐原(定時制)		
所在地	香取市佐原イ 2685		
交通手段	JR 成田線佐原駅 徒歩 20 分		
設置年度	定時制設置 昭和 23 年		
学年別 学科・学級数	普通 1		
全校生徒数	26	(19 . 7)	
1 学年 (男. 女)	5	(3 . 2)	
2 学年 (男. 女)	11	(8 . 3)	
3 学年 (男. 女)	5	(5 . 0)	
4 学年 (男. 女)	5	(3 2)	
居住市町村別 生徒数 (割合)	香取市 12 (46.2%) 茨城県 8 (30.8%) 成田・東庄 各 3 (各 11.5%)		
第5学区 生徒数 (割合)	15 (57.7%)		
地区内 生徒数 (割合)	15 (57.7%)		
部活動-部員数及び 加入率(R4)	運動部 14 文化部 0 加入率 53.8%		
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち4年大) 0 (0.0%) 専修学校 0 (0.0%) 職業能力校 0 (0.0%) 就職 4 (50.0%) その他 4 (50.0%)		
教職員数 (本務者)	教頭 1 名 教諭等 8 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名		
	合計 11 名		
校地面積	敷 地 全 体 50,497 保 有 建 物 17,206 保有運動場 33,291 実 習 地 他 0 借 用 地 0		
再編歴			

ウ 沿革

各学校の令和5年度学校要覧より抜粋

佐原			佐原白楊		
明治 33	2. 2	千葉県佐原中学校設置の公示	明治 41	5	町立佐原女学校、佐原町田宿佐原小学校内に開設、小学校長が校長を兼ねる
明治 33	2. 14	初代校長着任 仮事務所を香取郡役所内に設置	明治 43	3	文部大臣より香取郡立高等女学校設置認可
	4. 10	法界寺を仮校舎として 100 名入学を許可、授業開始		4	開校式ならびに入学式挙行
	9. 1	新校舎において授業開始	大正 12	4	千葉県立佐原高等女学校と改称
	12. 2	開校式 この日を創立記念日とする。	昭和 15	11	創立 30 周年記念式典挙行
明治 34	5. 17	千葉県立佐原中学校と改称	昭和 23	4	学制改革により千葉県立佐原女子高等学校と改称
明治 35	1. 7	寄宿舎使用開始 (昭和 7 年廃止)			定時制家庭課程開設(昭和 31 年まで)
明治 39	4	補習科 1 学級を敷設 (大正元年度まで存続)	昭和 25	4	千葉県立佐原第二高等学校と改称
昭和 23	4. 1	教育制度改革により千葉県立佐原高等学校となる。		11	校章制定
	6. 15	定時制設置許可 7 月発足 昼間制			創立 40 周年記念祭挙行
昭和 25	4. 1	小御門農業高等学校と統合して千葉県立佐原第一高等学校と改称	昭和 28	11	校訓制定
		定時制を夜間制に変更。	昭和 29	4	校旗制定
		男女共学開始	昭和 36	4	千葉県立佐原女子高等学校と改称
昭和 31	3. 1	新校歌制定		12	創立 50 周年記念式典挙行
	4. 1	小御門校舎分離独立 千葉県立下総農業高等学校開校	昭和 48	9	創立 60 周年記念式典挙行
昭和 36	4. 11	千葉県立佐原高等学校と改称	昭和 55	10	創立 70 周年記念式典挙行
昭和 44	4. 1	全日制に理数科設置	平成 3	11	創立 80 周年記念式典挙行
			平成 6	4	学科改編により家政科を生活デザイン科とし、普通科に国際教養コース、人文コース、情報コースを設置
			平成 13	10	創立 90 周年記念式典挙行
			平成 15	4	千葉県立佐原白楊高等学校と改称
			平成 22	11	100 周年記念(香取市文化会館)
			令和 2	11	創立 110 周年記念式典挙行

小見川		多古	
明治 17	11.4	旧良文村の学者、渡辺操が無逸塾を創設し、国・漢・歴史・英・数・道徳等を教える。	明治 40 6.3 多古町立多古農学校創立並びに開校
明治 30	6.20	校名を同志中学館と改め、修業年限5年とする。	大正 8 4.1 群移管、郡立多古農学校と改称
明治 33	4.1	村立良文農学校と改称する。	大正 12 4.1 県移管、県立多古農学校と改称
明治 38	4.1	同校廃校、引き続いて渡辺操が私立良文農学校を設置する。	大正 13 3.15 学則変更四年制
大正 9	3.18	渡辺操死去、経営が困難となり東京農大の援助を受ける。	昭和 2 4.1 学則変更五年制
大正 11	6.30	私立良文農学校の廃止と同時に同校施設の一部及び内容を引継ぎ、小見川町立小見川農業学校として設立認可、小見川小学校内にて授業を開始する。乙種農学校。	昭和 8 4.8 多古町立多古家政女学校開校
大正 12	5.15	校地を小見川町羽根川 37 に定め、校舎竣工、開校式挙行、同日を開校記念日と定める。	昭和 19 4.1 町立多古家政女学校県移管、県立多古農学校女子部と改称
昭和 3	4.1	県立移管、千葉県立小見川農学校と改称する。	昭和 23 5.15 新制高校開校、県立多古実業高等学校と改称
昭和 15	3.31	甲種農学校に昇格。	7.15 定時制家庭科設置
昭和 21	3.31	女子部併設	昭和 24 4.1 普通科設置 総合高校となり県立多古高等学校と改称
昭和 23	3.31	学制改革により男女共学になり千葉県立小見川実業高等学校と改称、通常課程、定時制課程を置く。	昭和 25 4.1 定時制家庭科募集停止
昭和 25	4.1	千葉県立小見川農業高等学校と改称。家庭課程を農村家庭課程に変更する。	定時制普通科設置
昭和 26	4.1	千葉県立小見川高等学校と改称、通常課程に普通課程を置く。	昭和 26 4.1 定時制短期家庭科設置(中分校)
昭和 28	4.1	定時制農業課程募集停止	4.13 定時制農業科設置(遠山分校)
	11.23	農村家庭課程を短期課程に変更 校歌制定	昭和 31 3.31 定時制農業科廃止(遠山分校)
昭和 30	4.1	通常課程・短期課程ともに農村家庭課程を家庭課程に変更する。	4.1 定時制普通科募集停止
昭和 32	2	校訓を「良識・責任・高雅」と定める。	昭和 38 4.1 定時制短期家庭科募集停止
昭和 33	4.1	短期課程 家庭課程の募集停止	昭和 39 4.1 定時制短期家庭科廃止
昭和 37	4.1	農業科募集停止	農業科2学級の内1学級を園芸科に
平成 7	4.1	家政科募集停止	昭和 45 4.1 商業家庭科設置
平成 11	3.30	城山3号古墳(方墳)下より 竪穴住居跡(弥生時代中期)発見	昭和 57 6.3 創立 75 周年記念式典挙行
平成 14	11.30	創立 80 周年記念式典挙行	昭和 60 11.13 創立 80 周年記念式典挙行
平成 24	10.20	創立 90 周年記念式典挙行	平成 3 4.1 家政科募集停止
平成 26	4.1	新制服制定	平成 6 4.1 農業科、園芸科、商業家庭科募集停止 生産流通科設置
平成 27	4.1	普通科に福祉コース設置	平成 9 11.7 創立 90 周年記念式典挙行
			平成 19 11.17 創立 100 周年記念式典挙行
			平成 29 6.3 創立 110 周年記念式典挙行
			平成 30 4.1 生産流通科を園芸科に改称

工 募集学級数の推移

課程	学校名	学科名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
全 日 制	佐原	普 通	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	
		理 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	佐原白楊	普 通	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	小見川	普 通	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	多古	普 通	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		園 芸					1	1	1	1	1	1	1
		生 産 流 通	1	1	1	H30年度、園芸科へ学科再構成							
	合 計		20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	
定 時 制	佐原	普 通	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	合 計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

※郡部における適正規模の下限である4学級に学校全体で満たない年度のセルを灰色にしている。(全日制のみ)

【参考】県立多古高校における学科再構成

「県立学校改革推進プラン」「第3次実施プログラム」に基づき、平成30年度に農業に関する学科の学科再構成を実施している。

再構成前	→	再構成後
生産流通科	→	園芸科

(3) 入試の状況

学校名	学科名	令和3年度入学者選抜					令和4年度入学者選抜					令和5年度入学者選抜				
		定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率
佐原	普通	240	239	1.00	239	100%	240	258	1.08	240	100%	240	245	1.02	240	100%
	理数	40	34	0.85	37	93%	40	32	0.80	40	100%	40	27	0.68	34	85%
佐原白楊	普通	200	164	0.82	166	83%	200	182	0.91	187	94%	200	213	1.07	200	100%
小見川	普通	160	149	0.93	149	93%	160	145	0.91	144	90%	160	131	0.82	133	83%
多古	普通	80	66	0.83	66	83%	80	51	0.64	53	66%	80	39	0.49	39	49%
	園芸	40	33	0.83	32	80%	40	30	0.75	30	75%	40	21	0.53	22	55%
佐原 【定時制】	普通	40	3	0.08	3	8%	40	10	0.25	11	28%	40	3	0.08	4	10%

1. 定員：第1学年募集定員(40名×募集学級数)
2. 募集人員：募集定員より併設中からの内部進学者分の人数を除いたものである。
3. 許可候補者数：一般入学者選抜、2次募集(定員を満たさなかった場合に行われる選抜)等で入学許可候補者となった者の数である
4. 充足率：定員に対する入学許可候補者数であり、 $\text{入学許可候補者数} \div \text{定員} \times 100$ で算出した

(4) 進路の状況 (令和4年3月卒業生徒)

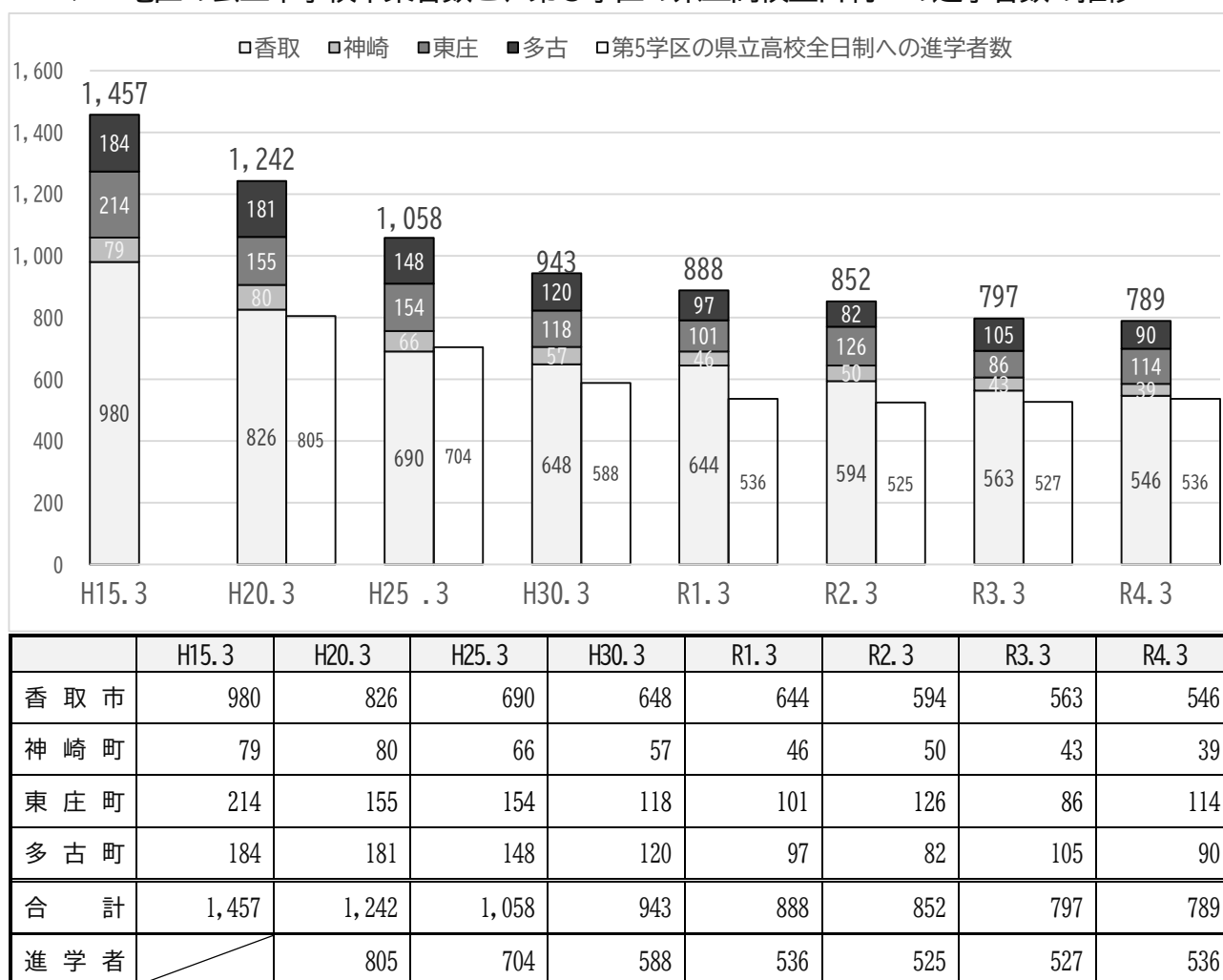
学 校 名	佐 原 【全日制】	佐 原 白 楊	小 見 川	多 古	佐 原 【定時制】
大学進学	238	127	27	20	0
(うち4年大)	237	115	21	18	0
専修学校	8	43	76	19	0
職業能力校	1	1	1	1	0
就職	5	17	44	64	4
その他	24	5	8	3	4
卒業者計	276	193	156	107	8

出典：令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて算出

2 香取地区の現状と今後の見通し

(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等

ア 地区の公立中学校卒業者と、第5学区の県立高校全日制への進学者数の推移



※ H15.3の香取市には、佐原市、山田町、栗源町、小見川町を合算した値が記載されている。

※ H15.3の進学者数はデータが存在しないため、掲載していない。

出典：中学校卒業生数は令和4年12月公表の学校基本調査（文部科学省）より、進学者数は、進路状況調査を基に教育政策課にて算出。ともに公立中学校からの卒業生、進学者の数である。

イ 自治体別 公立中学校卒業者の進路先

①香取市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	494	90.5%
うち公立	432	79.1%
うち私立	62	11.4%
高校【定時制】	4	0.7%
高校【通信制】	8	1.5%
高等専門学校	1	0.2%
特別支援学校	4	0.7%
県外へ進学	29	5.3%
進学以外	6	1.1%
合計	546	100.0%

全日制公立高校進学者 432 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	4	0.9%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	45	10.4%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	383	88.7%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		432	100.0%

②神崎町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	39	100.0%
うち公立	35	89.7%
うち私立	4	10.3%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	0	0.0%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	0	0.0%
進学以外	0	0.0%
合計	39	100.0%

全日制公立高校進学者 35 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	10	28.6%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	25	71.4%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		35	100.0%

③東庄町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	96	84.2%
うち公立	79	69.3%
うち私立	17	14.9%
高校【定時制】	2	1.8%
高校【通信制】	3	2.6%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	2	1.8%
県外へ進学	10	8.8%
進学以外	1	0.9%
合計	114	100.0%

全日制公立高校進学者 79 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	1	1.3%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	78	98.7%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		79	100.0%

④多古町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	87	96.7%
うち公立	67	74.4%
うち私立	20	22.2%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	2	2.2%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	1	1.1%
進学以外	0	0.0%
合計	90	100.0%

全日制公立高校進学者 67 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	16	23.9%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	50	74.6%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	1	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		67	100.0%

⑤地区全体

中学校卒業者の進路先

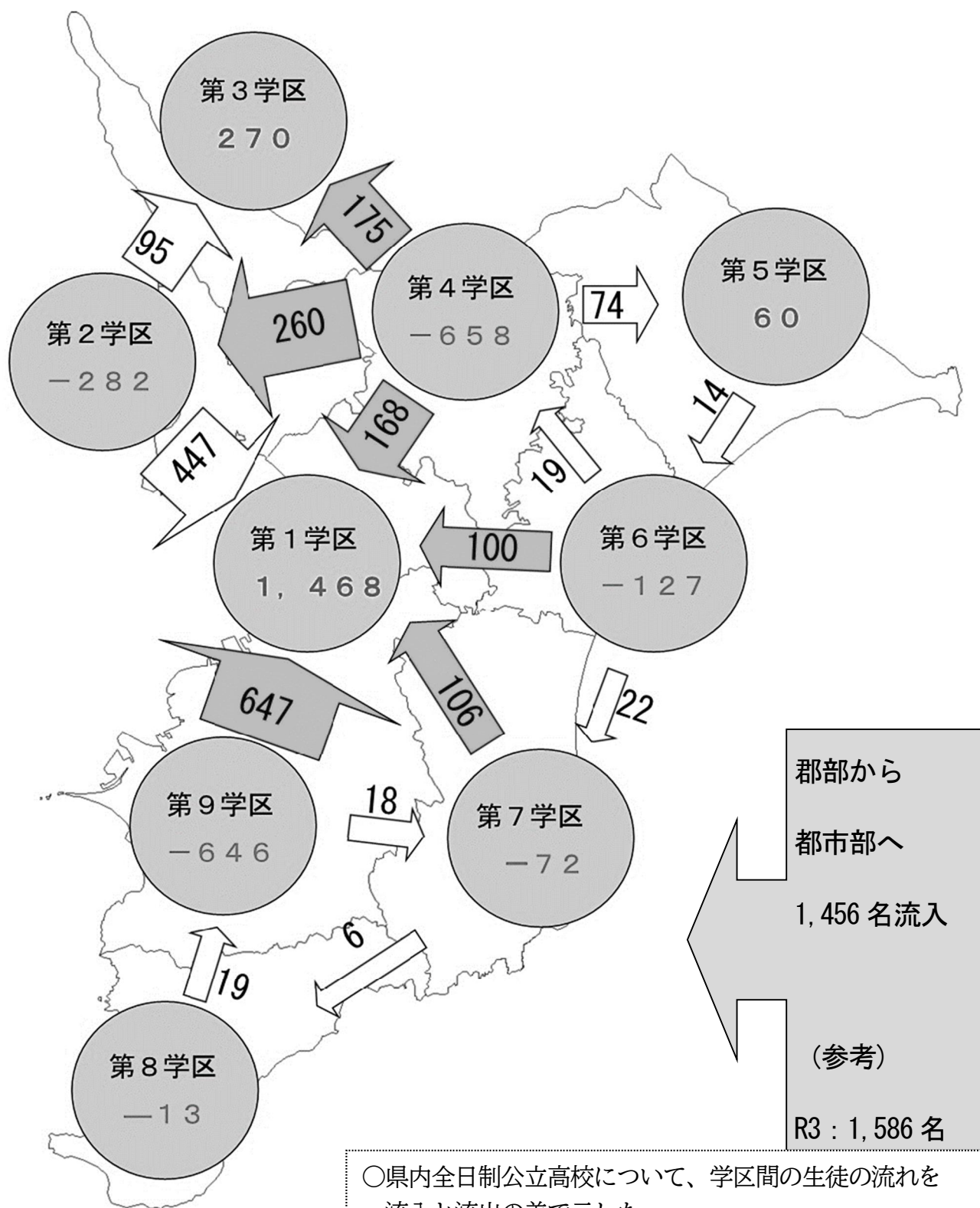
進路先	人数	割合
高校【全日制】	716	90.7%
うち公立	613	77.7%
うち私立	103	13.1%
高校【定時制】	6	0.8%
高校【通信制】	13	1.6%
高等専門学校	1	0.1%
特別支援学校	6	0.8%
県外へ進学	40	5.1%
進学以外	7	0.9%
合計	789	100.0%

全日制公立高校進学者 **613** 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	4	0.7%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	72	11.7%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	536	87.4%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	1	0.2%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		613	100.0%

出典:令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて作成

ウ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）



○県内全日制公立高校について、学区間の生徒の流れを流入と流出の差で示した。
○郡部から都市部への流入については灰色で示している。
出典：教育政策課調べ

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年 卒業年月	中3 R6.3	中2 R7.3	中1 R8.3	小6 R9.3	小5 R10.3	小4 R11.3	小3 R12.3	小2 R13.3	小1 R14.3	5歳 R15.3
香 取 市	538	512	498	466	454	422	412	413	374	372
神 崎 町	39	32	36	32	26	35	34	29	27	35
東 庄 町	106	98	91	81	80	88	76	79	82	59
多 古 町	103	93	97	90	85	91	80	86	66	85
合 計	786	735	722	669	645	636	602	607	549	551

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

